

「最初のペンギン」 教科書 p190～p197

筆者(茂木健一郎) () 脳科学者。(脳) と心の関係を研究するとともに、文芸評論、美術評論に取り組んでいる。

第一段 (p190 初め～p191 2行目)

神 (① 宇宙) の全てを見通す。
A 無限

(① 完全) な知識

新しいものの(③創造) () はない。

人間 未来が(④ 不透明) () (⑤ 不確実) ()
B 有限

←

思いがけない新しいものが生まれる(⑥可能性) ()

(③創造)

コンピュータ 限られた(⑦素子) () の状態で計算
C 有限

問題

問1 本文中では、「神」「人間」「コンピュータ」の特徴が対比して書かれている。

(①) () (⑦) () に本文中から適当な語句を抜き出して入れよ。

問2 **A** **B** **C** に漢字二字の適当な語句を入れよ。

問3 「有限の立場」(p190 4行目)とはどういうことか。「いわば」という接続詞に注意!

どのような選択が最も有益か分からないままに、判断、決断し、選択すること。

問4 「人間」と「コンピュータ」の違いは何か。

有限の立場であることの乗り越え方が違う。

(不透明、不確実な未来に対処する方法が違う。)

問5 「創造」の可能性の条件として筆者はどのようなことを挙げているか。

未来が不透明で不確実であること。